

11月

昭和52年1977

横浜市関係

- 1 1—教文センターで地方自治三〇周年記念集会。「自治と市民生活を考える集い」
- 2 1—市長、米空母艦載機が厚木基地に飛来したことで米軍、防衛施設庁に抗議
- 5 1—横浜防衛施設局、緑区山内出張所で米軍機事故の被害者への補償説明会
- 6 1—港北区役所、区民と職員による「区民の生活実態調査」するための初会合
- 7 1—マリナード公共広場で「横浜の道路」展。▽市長、定例記者会見で社会党成田委員長から要請の次期委員長問題に重ねて不出馬表明。▽県都市計画地方審議会、横浜駅西口再開発ビルほかを了承
- 8 1—下水道局長、市会第四委研究会で下水道使用料値上げを示唆
- 10 1—円高ショックの市内企業に緊急融資
- 11 1—第二六回横浜文化賞贈呈式
- 15 1—市長、米軍機墜落事故に関連し安全高度にするよう政府と米軍に要請。△中区青少年図書館に郷土史コーナー開設
- 16 1—久保山など三カ所の市営墓地二五〇区画分譲、申込初日に早くも三倍超す
- 17 1—市長、成田社会党委員長と東京で会談したが次期委員長就任は固辞を表明。
- 18 1—市教委、学校教員統計調査結果をまとめる。小学校教員の三人に二人は女性
- 19 1—成田社会党委員長、市長を訪問し次

自治体・国・社会

- 1 1—円高続く、ロンドンで二四五円五〇銭。▽第三次国土総合開発計画答申。▽米、I L O 脱退を発表。2 1—厚生省の県別平均寿命、長寿なのは東京、神奈川県。▽モスクワでロシア革命六〇周年記念集会。3 1—川崎市富士見公園で「ふるさと川崎市民祭」開かる。5 1—成田社会党委員長「自治体政策研究全国集会」出席の飛鳥田横浜市長に次期委員長を正式要請したが、市長は不出馬強調。7 1—神奈川県中井町長選、関野善之町長三選。8 1—川崎市、各区に区民懇談会を構想。10 1—神奈川県警、川崎市下水道局渡辺茂河川事務所長を取崩容疑で逮捕。11 1—川崎市の下水道局汚職に関連し、建設部長が部下の責任とると庁舎四階から投身自殺。14 1—厚生省、サリドマイド被害児、新たに五〇人認定し世界三位の三〇三人に、同省認定打ち切り方針出す。16 1—会計検査院の「接待検査」ぶり国会で追及される。17 1—神奈川県知事、米公使を訪ね厚木基地の飛行中止申し入れる。▽ロッテの川崎球場使用固まる。18 1—奈良県知事、県立医大の裏口入学問題で記者会見、特別ルート認める。20 1—自治省、地方公営企業五十一年度決算概要まとめ全体でやや好転。24 1—社党都道府県代表者会議、次期委員長に飛

12月

昭和52年1977

横浜市関係

- 期委員長就任を重ねて要請、市長再び固辞。会談後の記者会見で市長、「この問題で今後委員長に会うことはない」と語る
- 20 1—ベトナム、ラオスへ向け市長を団長とする友好使節団一人、羽田を出発
- 24 1—市教委、新設二校を含む五十二年第三次教育施設整備計画を発表
- 25 1—米大統領、米軍機事故で市長宛返書
- 26 1—教文センターで区民会議交流会
- 30 1—大場助役、米軍機事故で外相、防衛庁長官をたずね市街地上空飛行中止を要請
- 1 1—市長、ベトナム、ラオスへの友好訪問の帰途バンコックで記者会見、次期社会党委員長「不出馬」変らぬと語る
- 2 1—市基本都市計画審、日照確保に関する市案など妥当と答申。▽市長、記者会見で次期委員長問題で重ねて不出馬表明
- 3 1—次期社会党委員長問題で成田委員長、市長を訪問し会談。市長は、条件付きで受諾を表明し急転
- 5 1—市長、記者会見で委員長就任問題にふれ、辞任は決算委員会見届けてと語る
- 6 1—市長、臨時局区長会議で訓示、社会党次期委員長受諾を説明、了解求める
- 7 1—市会十二月定例会開会。市長、次期社会党委員長出馬の所信表明をしたが、自公、民各党は硬化、議案の上程持ち越す

自治体・国・社会

- 鳥田待望論続出。▽横浜地裁、メッキ廃液河川たれ流しに懲役刑判決。25 1—第八二臨時国会、国鉄、健保法案など廃棄し閉幕。▽行官庁長官、十七日発言の公務員の六〇歳定年制について発言を撤回。28 1—福田改造内閣発足。30 1—全国知事会、外形課税導入の実施要綱まとめる。
- 1 1—神奈川県、近隣騒音防止を含む公害防止条例まとめる。▽女優、望月優子さん死去(60歳)。
- 2 1—横浜で革新市長会拡大幹事会開く、各地の首長選の敗因を分析。▽厚生白書「高齢社会の入口に立つ社会保障」発表。3 1—横須賀市会、米海軍横浜浜住宅二号地受け入れなど条件付きで受入れ決定。▽横浜大洋球団社長、川崎市長に面会し川崎全面撤退申し入れ。4 1—成田社会党委員長、横浜市を訪ずれ、飛鳥田次期委員長受諾で党、地元を説得したが反対一色。6 1—政府、ドル減らし対策として牛肉輸入増など決める。7 1—川崎市、マンション建設にアセスメント条例初適用、報告書縦覧。8 1—飛鳥田横浜市長、社会党改革への

昭和  
53年  
1月  
1878

- 9 市長、委員長就任問題で議案上程できぬことを配慮、異例の三議案撤回
- 11 市会運委、下水道料金値上げ案撤回を加え、議長あつせんで再会へ動く
- 14 市児童福祉審議会、「市保育所行政の体系と今後のあり方」中間答申
- 16 市会、開会以来一〇日目に本会議再会、四議案の撤回を承認し軌道にのる
- 20 飛鳥田市長辞任に伴う市長選問題で公、民、新自クの各党代表者、公営企業金融公庫総裁の細郷道一氏に出馬を要請
- ▽市道山下―長津田線、桜木町周辺開通
- 21 市会、補正予算など可決し閉会
- 22 自民党、細郷氏へ市長選出馬要請
- 28 市長、市会各派団長会議に出席し五十二年三月上旬に辞任を示唆。▽市内四大学の学者・文化人の代表、市長へ候補者練り直し申し入れ。▽市長、職員に「全国の社会黨員、国民から望まれて止むを得ず中央に出かけることになった。後ろ髪を引かれる思いだ」など語る

- 1 東京板橋区内のアパートで爆発事故、居住者は逃走。4 福田首相、デノミで積極発言。▽共産党、同党中央委員会幹部会前副委員長袴田里見氏除名。
- 6 全国市長会、自治体の「都市宣言」制定は三七五市。7 川崎市長、横浜地裁の退職金返還で、「裁量権の範囲を明確に」と高裁に控訴。9 飛鳥田社党

- 提言」発表。9 波止浜造船が倒産。13 社党定期大会、飛鳥田執行部発足。15 政府、五十二年の実質経済成長率の目標七％に決定。▽都衛生局、ガンの特効薬インターフェロンの量産糸口つかむ。16 神奈川県で教育長、主任制四月実施と答弁。17 東京で社会主義インテーク開く。20 中央公害対策審、トラック、バスのNOx強化を報告。23 政府、省庁の五一課室削減の行革案決定。25 チャップリン死去(88歳)。26 本四架橋、児島―坂出ルートでアセスメント縦覧で住民反発。29 五十三年度政府予算案、一般会計三四兆二九五〇億円、財投一四兆八八七六億円が決まる。公共事業三四・五％増、国債依存度三二％。31 厚生省五十二年の人口動態統計の概況をまとめる。出生減り死亡最低、離婚率は昭和期で最高。

- 市長選には触れず。▽西消防署で出初式
- 11 次期市長選へ公、民、新自ク三党共同と自民党から出馬要請を受けていた細郷道一氏出馬表明、「保守・革新にとらわれない」脱イデオロギーの市民党の立場で市民本位の自治をつくりあげていきたい」と語る。▽市教委、五十三年度小学校入学児童数五万人の大台超す
- 12 市民参加の横浜市長選を呼びかける「市民のための市政をめざす市民のつどい」が市民ホールで開かれる
- 14 十三日夜から群発地震が続いていたが、午後〇時二四分横浜でM5の地震
- 15 横浜文化体育館で成人式
- 16 日米合同委、米軍ファントム機墜落の原因はバーナーに三〇センチの大穴
- 17 市会決算特別委、局別審査始まる。食肉市場の衛生状態が悪いと指摘され、翌十八日改善策示す
- 18 公害企業」のきょ出金、長期継続で合意
- 21 米軍機墜落事故の被害者、椎葉寅生氏、機長ら米軍人を告訴。▽共産党県委員長、次期市長選で細郷氏不支持を表明
- 23 五十三年度高校授業料値上げ見送る
- 24 市長、米軍機墜落の原因調査報告に対し市民の不安なくせと談話を発表
- 27 横浜大洋ホエールズ友の会が結成
- 31 横浜文化体育館で市民の市長をつくる会が開かれ五〇〇〇人が集る

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。\* 印は日付不確定のため新聞発行日。